

ONO SOKKI

## LA-1250 積分型普通騒音計

タイマー機能でブロックメモリーへデータ保存する手順

---

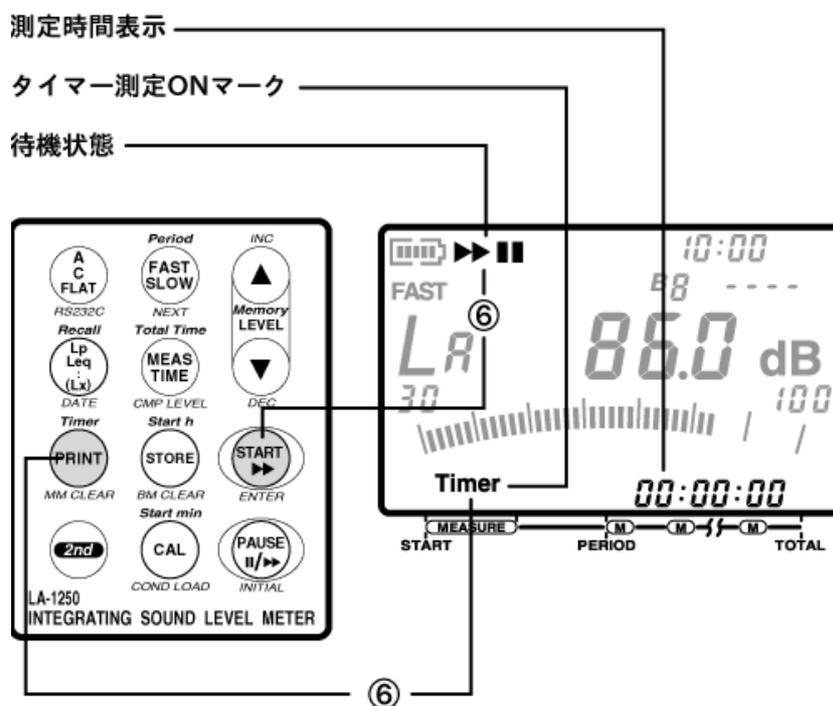
株式会社 小野測器

## LA1250 タイマー機能でブロックメモリーへデータ保存する手順

次の条件での測定設定手順を示します。(設定例)

演算値	: LAeq
時定数	: FAST
測定時間	: 3 s
測定間隔	: 10 s
トータル時間	: 1分
スタート時間	: スタートを押して直ぐ計測開始

下図はタイマー on の画面を示します。



### 操作手順

(1) ブロックメモリーをクリアし、電源を On します。

**STORE** ボタンを押しながら、**POWER** スイッチを on します。

(Timer 文字表示の場合は **2nd** ボタンを押し、**青字Timer** のボタンを押して、**Timer** 文字消灯させ、再度 **2nd** ボタンを押し、**2nd** の文字も消灯させます)

(2) **LEVEL** スイッチで、測定レベルに合わせます。

(3) **A C FLAT** ボタンを何度か押し **LA** 表示します。

(4) **FAST SLOW IMP** ボタンを何度か押し **FAST** 表示にします。

(5) タイマー測定の設定をします。

① **MEAS TIME** のボタンを何度か押し 00:00:03 に設定します。

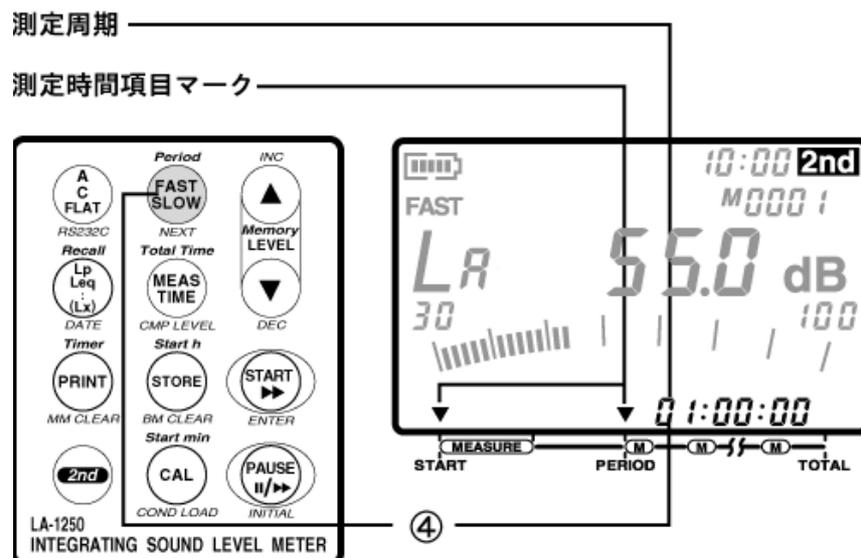
② **2nd** ボタンを押します。 2nd の文字が表示されます。

③ **青字Period** のボタンを何度か押し 00:00:10 に設定します。

- ④ **青字Total Time** のボタンを何度か押し 00:01:00 に設定します。
- ⑤ **青字Start h** のボタンを何度か押し --|-- 表示にします。
- ⑥ **青字Timer** のボタンを押し **Timer** 文字を表示させます。  
メモリー番号が **B0-----** の表示になっていることを確認します。
- ⑦ **2nd** ボタンを押し 2nd 文字を消灯させます。
- (6) **START** ボタンを押し計測を開始します。  
直ちに計測を開始し、3 s後に計測を終了し、**STR** の文字が一瞬表示され、データが保存し、メモリー番号が **B0 0001** になっていることを確認してください。
- (7)10 s後に測定を再開し、3s測定後データ保存されます。以後1分経過するまで測定を繰り返します。
- (8)タイマー測定が終了すると、省電力モードが働き、データ表示は消灯されます。
- (9)**PAUSE** ボタンを 3 s以上押すと、瞬時のデータ **LA** を表示する画面になります。
- (9)保存データを読み出します。
- ①**2nd** ボタンを押し 2nd 文字を表示します。
- ②**青字 Recall** ボタンを押し **RCL** の文字を表示させます。
- ③**青字Memory (DEC)** ボタンを何度か押し **B0 0001** に設定すると、スタート時に記憶された LAeq データが表示されます。0001 から 0006 まで 10s ごとのデータが順に呼び出すことができます。ここを抜けるには**Recall** ボタンを押し **RCL** 文字を消灯します。

<注意>ブロックメモリの同じ番号に、LAeq、Lmax、Lpk、Lxの測定データが保存されています。これを**RECALL**するには、**2nd**ボタンを押し、2nd文字を消灯させ、**LP Leq (Lx)** ボタンを何度か押すことで読み出すことができます。

下図は測定周期設定例です。



- (10)瞬時測定に戻すには、(タイマー測定を中止するには)  
**2nd** ボタンを押し 2nd 文字を表示させ、**青字Timer** ボタンを押し、**Timer** 文字を消灯させます。消灯後 **2nd** ボタンを押し 2nd 文字を消灯させます